

標 題：

材料試験機のトレーサビリティの現状及び
今後の材料試験機検査について(その2)

NKテクニカル インフォメーション

No. : 342

Date : 平成 11 年 12 月 10 日

関係業者・試験機ユーザー各位

弊会は、NK テクニカルインフォメーション第334(平成 11 年 10 月1日付)にて「材料試験機のトレーサビリティの現状及び今後の材料試験機検査について」と題して関連情報を知らせ致しました。その後の情報及び補足情報をお知らせ致します。

1. 材料試験機のトレーサビリティの現状

弊会の材料試験機のトレーサビリティ^(注1)について、現状は下図に示したとおりであります。この中で現在第1階層のトレーサビリティ体制作りが進められており、弊会も JCSS マーク付きの力計校正証明書が発行可能な認定事業者資格を2000年早々には受領の見込みです。また、これに続く第2階層の体制作りも試験機工業会に設けられた検討会で、2001 年 4 月 1 日施行・実施に向けて鋭意検討中です。

なお、JCSS マーク付き力計又は試験機の検査証明書が発行できるまでは、ご希望があれば、弊会よりトレーサビリティ体系図の発行を致します。

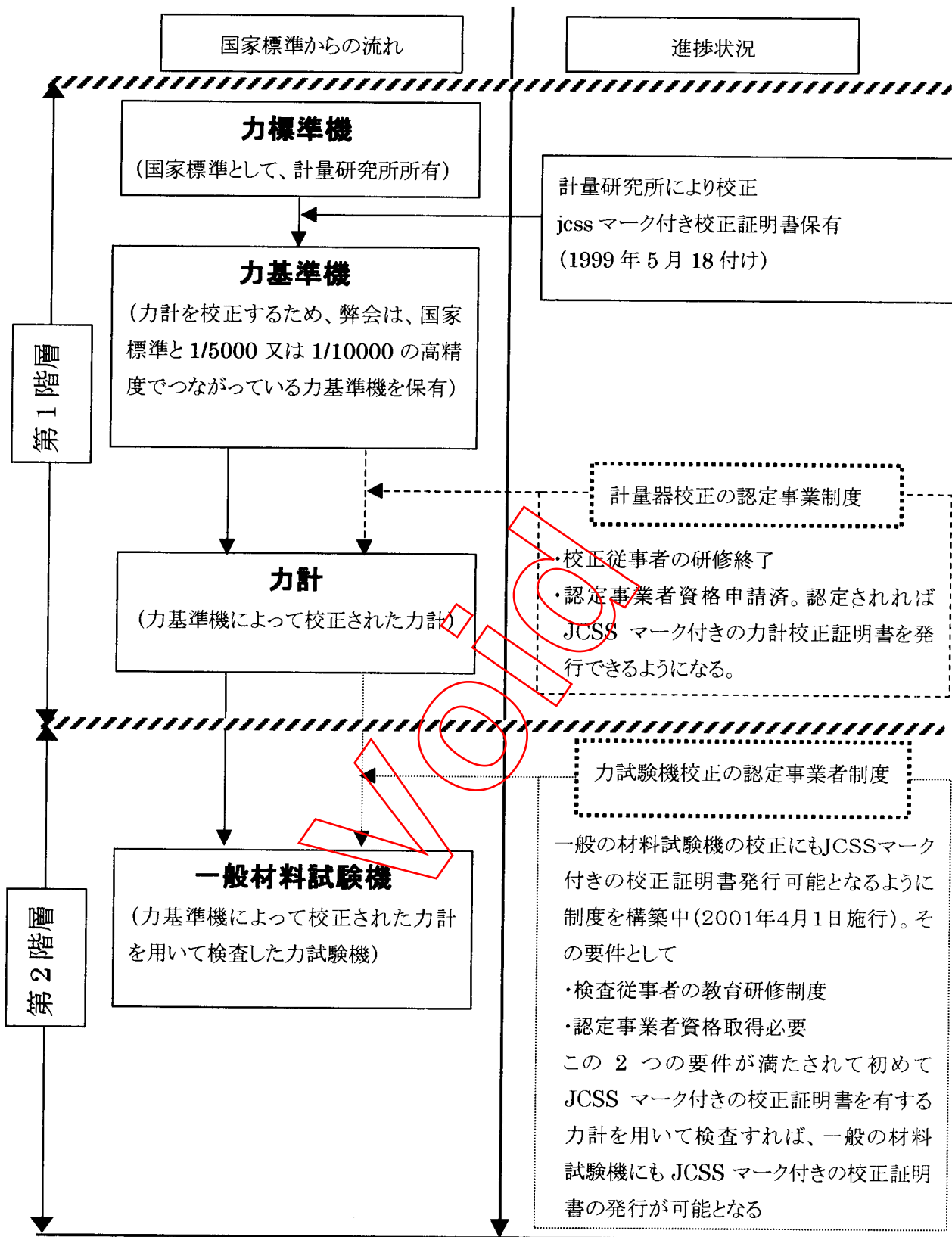
(注1) トレーサビリティ(traceability)とは、不確かさがすべて表記された、切れ目のない比較の連鎖を通じて、通常は国家標準又は国際標準である決められた標準に関連づけられ得る測定結果又は標準の値の性質であります。また、国家標準(national standard)とは、国家的な決定によって認められた標準であって、当該量の他の標準に値付けするための基礎として国内で用いられるものであり、通産省工業技術院計量研究所に保管されている1kg 原器や1m 原器等がこれに相当し、材料試験機関係でも同研究所所有のものが国家標準に指定されています。

ClassNK

財団法人 日本海事協会

東京都千代田区紀尾井町4番7号 〒102-8567

このテクニカルインフォメーションは貴社のお役にたてばと思って情報を提供するものです。必要に応じて貴社のご判断、責任においてご利用下さい。疑問についてはいつでもご相談下さい。



2. 受け台の衝撃方向の逃げ角が 10° 未満のシャルピー衝撃試験機の証明書の有効期限について

JISB7722 の改正により、シャルピー衝撃試験機の受け台の衝撃方向の逃げ角は $10 \pm 1^{\circ}$ から $11^{\circ} \pm 1^{\circ}$ に改正されました。この角度の改正実施には 1 年の猶予期間が設けられておりましたので、2000 年 3 月 31 日に猶予期限を迎えます。従いまして、シャルピー衝撃試験機を所有される方々におかれましては当該期限までに同角度が $10^{\circ} \sim 12^{\circ}$ の範囲にある事をご確認願います。弊会の検査時には同角度も確認させていただき、もし 10° 未満の場合には、①適切な角度を有するものと交換されるか、② 2000 年 3 月 31 日まで有効な試験機検査証明書の発行をご了承いただくか、③ 1 年間有効であるものの、同逃げ角が 10° 未満である旨記載した同証明書を発行させていただくことになります。なお、2000 年 4 月 1 日以降は、受け台の衝撃方向の逃げ角が $11^{\circ} \pm 1^{\circ}$ の範囲内に合致しない衝撃試験機は検査時までに当該部品の交換が必要となります。

お問い合わせ： 機関部 機関計画部門

Tel: 03-5226-2022

Fax: 03-5226-2024

トレーサビリティ体系図発行のご要望：

力計については

研究センター管理室試験課

Tel: 043-294-5400

Fax: 043-294-5464

試験機については

検査をお申込の支部へ